

T O P I C S

韓国における合併会社 SCAS-BTT バイオアナリシスの設立

(株)住化分析センター (SCAS) は、(株)バイオトクステック (本社：韓国、社長：姜 鍾求, BTT) と合併会社 SCAS-BTT バイオアナリシス (略称 SBB) を韓国に設立し、医薬品等のバイオアナリシス分野における研究開発支援サービスをご提供いたします*。SBB は SCAS の技術指導の下、非臨床 CRO として韓国トップクラスの

実績を誇る BTT 社と連携して非臨床試験におけるトキシコネティクス (TK)・ファーマコネティクス (PK) 測定を実施するとともに、日本、韓国およびアジア各国で実施される臨床試験において高品質な PK 測定サービスをご提供いたします。



左：(株)住化分析センター 代表取締役 中塚 巖
右：(株)バイオトクステック 代表理事 姜 鍾求



(株) SCAS-BTT バイオアナリシス

*所在地：韓国 忠清北道清原郡梧倉邑陽青里 686-2 梧倉科学産業団地、資本金：40 億ウォン、設立：2011 年 5 月 2 日、営業開始：2011 年 7 月

日本薬局方ヘパリン (2010 年 7 月 30 日改正) の受託分析を開始

2010 年 7 月 30 日に第十五改正日本薬局方の一部が改正され、ヘパリンナトリウム及びヘパリンカルシウムの規格が改正されました。改正により新試験法として液体クロマトグラフィーが追加され、過硫酸化コンドロイチン硫酸 (NMR) の試験法等が改正されています。旧薬局方のみなし期間は 2012 年 1 月 31 日までとなっています。

当社では追加された液体クロマトグラフィーの GMP 対応試験の体制を整備し、NMR とセットで分析サービスを提供致します。

「ChemCon Asia 2011 (香港)」に出展

2011 年 6 月 27 日から 7 月 1 日の間、中国香港で開催された化学物質管理規制に関する国際会議である ChemCon Asia 2011 に出展いたしました。今年の会議は、世界経済を牽引するアジアにおける開催に加えて、欧州 REACH 規則施行に続いて 2010 年に日本や中国における化学物質管理規制が改訂されたことから、大いに注目されました。世界 30 カ国以上から約 270 名の当局および企業等の関係者が参加し、最新の各国規制について活発に議論されました。

当社は展示のほか、日本の法規制セッションにおいて「改正化審法が企業に及ぼすインパクト」について招待講演も行いました。今後も引き続き、国際的企業プレゼンスの向上に努め、グローバルな化学物質管理規制対応サービスをご提供いたします。

トランス脂肪酸測定サービスの開始

トランス脂肪酸の摂取は動脈硬化等による心疾患のリスクを高めるとの報告があり、諸外国ではトランス脂肪酸含有量の表示が義務付けられています。日本においても食品中のトランス脂肪酸含有量表示の義務化への動きがあり、平成 23 年 2 月 21 日に消費者庁より「トランス脂肪酸の情報開示に関する指針」が公表されました。指針では、トランス脂

肪酸に加え、飽和脂肪酸およびコレステロールの含有量も表示するよう示されています。

これを受けて、当社では AOAC 996.06 準拠のトランス脂肪酸・飽和脂肪酸含有量および栄養表示基準準拠のコレステロール含有量の測定サービスを開始しました。今後、消費者庁等より開示されるガイドライン等に随時対応予定です。

近畿化学協会から「化学技術賞」を受賞

当社は、自社開発技術である「クリーンルーム空気中の短時間、高感度イオン成分評価方法の開発」に関して、近畿化学協会・第 63 回化学技術賞を受賞しました (千葉事業所 気相解析グループ 大川典子、守屋達、嶋田いつか、石渡夕子、清水眞理)。

開発した高感度サンプラーを用いることで、従来困難であったフォトマスク周りの微小空間内などの評価が可能となりました。今後、お客様の様々な

課題の解決に活用して行きたいと考えております。

